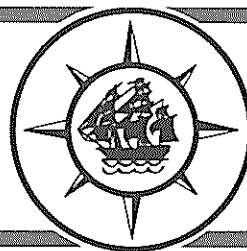


## Operation Raleigh News



Operation Raleigh

DENSO

No.24

昭和61年(1986)10月5日(日)  
毎月1回発行●発行所 オペレーション・ローリー日本委員会  
〒104 東京都中央区築地1-7-10 築地オーミビル502号  
電話 東京(03)544-7413

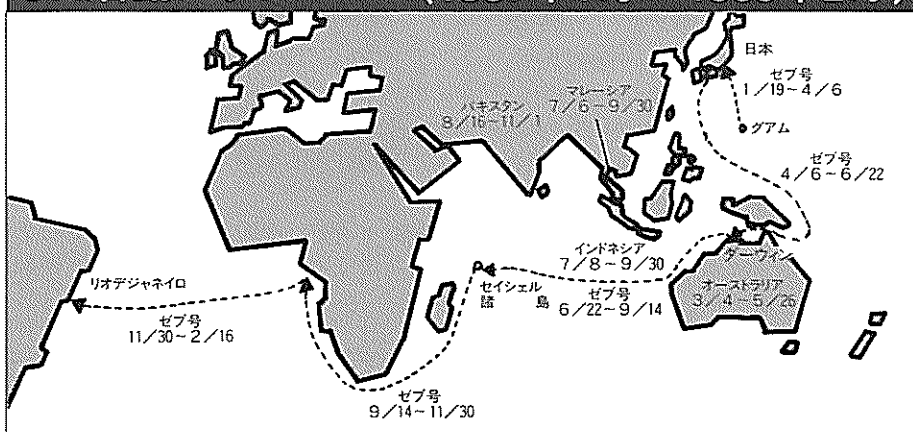
●このオペレーション・ローリーニュースは日本電装株式会社のご協力で作られたものです。

1986年次  
日本代表青年

## 難関突破し30名決まる

1986年次オペレーション・ローリー日本代表派遣青年30名が9月17日(木)の日本委員会で最終審議されて決まりました。30人は、17歳から23歳の男子19名、女子11名で、1987年1月～4月のゼブ号航海(グアム→日本)から1987年11月～1988年2月のゼブ号航海(アフリカ→リオデジャネイロ)まで、さまざまなフェイズに分かれて参加します。(30名のプロフィールは2・3面で紹介しています)

## OR活動スケジュール(1987年1月～1988年2月)

それぞれの目標胸に  
6青年ニュージーランドへ

河合さん 戸田さん 田口さん 月村君 松井君 川北君

ニュージーランドフェイズに参加する日本代表派遣青年6人(河合佳代子さん、田口陽子さん、戸田美紀さん、月村卓也君、松井洋一君、川北秀人君)は9月19日(金)午後9時45分成田空港発日航775便でオークランドへ向かいました。6人はオークランドで乗り換え、南島の中心都市クライストチャーチに20日(土)午後8時10分に到着しました。

6人が出発前アンケートに回答を寄せてくれましたのでご紹介しましょう。とくに現地では何を主眼にするかについて6人の目標は次のとおり

です。

河合 未体験のことをいろいろやりたいと思う。

戸田 共同生活の重要性や探求心を大切にしたい。

田口 コミュニケーションと物事を見る目を養いたい。

月村 自分の可能性を試し、さまざまな活動をエンジョイすること。

松井 フィヨルドの水環境の調査に参加したい。

川北 カラダを使ってアドベンチャーラーになりたい。

ゼブ号・SWR号ともに  
ケアーンズで大歓迎

ゼブ号は9月16日までケアーンズに停泊し、市民の歓迎を受けていましたが、16日航海訓練のためミンチン運河に向かいました。

SWR号もケアーンズで一般公開され、485人の市民が乗船しました。船上では3回のレセプションが開かれ、成功しました。またマイク・キチンサイド船長が9月13日で帰国するため、送別会も行なわれました。なお後任にはトミー・スミス船長が着任することになっています。

(ウィークリーブリテンNo.52より)

# Bon Voyage! 30人の若き



JP0061

としま ひとし  
**戸島 仁嗣**

20歳・愛知県出身。京都大学法学部在学中。水泳指導のアルバイトの他、ボーイスカウトの一員でもある。1987年2月から6月ゼブ号でグアムから日本へ航海の予定。



JP0062

わたなべ みわ  
**渡辺 美和**

23歳・神奈川県出身。海上保安庁秘書室勤務。小型船舶1級・特殊無線技士などの資格をもつ。帆船ゼブ号でグアムから日本まで航海の予定。



JP0063

かなだ としまさ  
**金田 寿正**

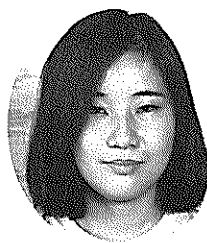
20歳・長野県出身。愛知教育大学教育学部理科学科在学中。サバイバル技術の経験あり。山岳スキー・登山が趣味。1987年3月から6月までオーストラリアフェイズへ。



JP0067

たご しんや  
**田子 真也**

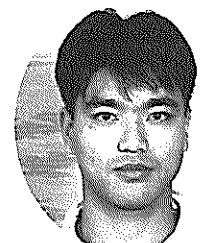
20歳。千葉県出身。一橋大学在学中。スキューバダイビング部に属し、海洋生物学、水中考古学に強い関心を持っている。1987年から6月、オーストラリアフェイズへ。



JP0068

かし みさ  
**岸 美佐**

23歳・東京都出身。東京医科歯科大学医学部在学中。ESS所属。ほかに仏・独語が得意で翻訳・通訳の経験あり。1987年3月から6月までオーストラリアフェイズ参加。



JP0069

よねやま たつろう  
**米山 達郎**

21歳・鹿児島県出身。京都大学文学部在学中。水泳は1km以上。山岳部・バスケット部・ラグビー一部在籍。1987年7月から9月までインドネシアフェイズ参加予定。



JP0073

おおつか さとこ  
**大塚 聡子**

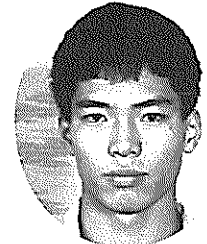
20歳・千葉県出身。筑波大学第二学群生物学類在学中。スキューバダイビング部で水中ナビゲーションの技術をもつ。1987年7月から9月までインドネシアフェイズへ。



JP0074

なかくぼ みわ  
**中窪 美和**

21歳。東京都出身。国際基督教大学教養学部理学科在学中。電話級アマチュア無線技士の資格をもつほか折り紙も得意。1987年7月からインドネシアフェイズ参加予定。



JP0075

しむら けんすけ  
**志邨 健介**

22歳・広島県出身。早大政経学部政治学科在学中。バスケット部・軽音楽部所属。1987年7月から9月までマレーシアフェイズに参加予定。



JP0079

むらかみ ゆかり  
**村上 由香里**

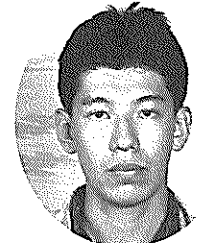
20歳・千葉県出身。東京農業大学農学部林学科在学中。自転車の組み立てや修理が趣味。1987年8月から11月までパキスタンフェイズに参加予定。



JP0080

しむら あきこ  
**志村 秋子**

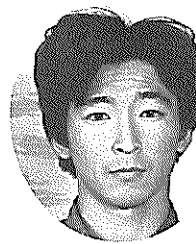
19歳・千葉県出身。慶応義塾大学法学部法律学科在学中。中学・高校時代陸上部で活躍し全国大会にも出場。1987年8月から11月までパキスタンフェイズに参加予定。



JP0081

くまがい まさのり  
**熊谷 正紀**

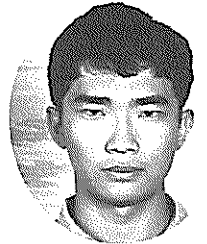
19歳・千葉県出身。信州大学理学部地質学科在学中。探険部に所属し、ゴムボートでの激流下りや気球などの経験あり。1987年8月から11月までパキスタンフェイズへ。



JP0085

もりた まさゆき  
**森田 昌之**

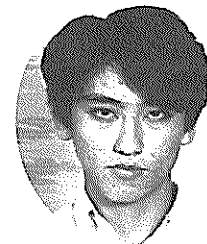
23歳・東京都出身。国士館中学理科講師。中学・高校の理科教員資格のほか日本語教師をめざし勉強中。1987年6月から9月、ゼブ号でケアーンズからセシエル諸島へ。



JP0086

わたなべ やすひこ  
**渡辺 靖彦**

19歳・京都府出身。京都大学工学部電気系工学科在学中。空手初段。和船操縦技術をもつ。1987年6月から9月までゼブ号でケアーンズからセシエル諸島まで航海予定。



JP0087

えがしら ひでお  
**江頭 英雄**

19歳・大阪府出身。関西学院大学経済学部在学中。キャンプリードークラブ所属。救急医療の経験あり。剣道初段。1987年9月から11月ゼブ号で航海の予定。

# 「険者たちよ。」 1986年次オペレーション・ローリー

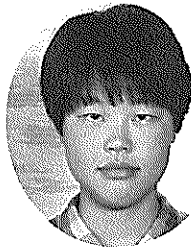
## 日本代表派遣青年をご紹介します。



JP0064  
なかだ よしたか  
**高田 義隆**

22歳・東京都出身。早大政経学部経済学科在学中。小学校時代をニューヨークで過ごし、ア

メリカでボーイスカウト・通訳・ガイドの経験あり。オーストラリアフェイズ参加。



JP0065  
すなこ ゆみ  
**砂子 由美**

22歳・静岡県出身。浜松医科大学在学中。ワンダーフォーゲル部所属。救急医療や通訳・通

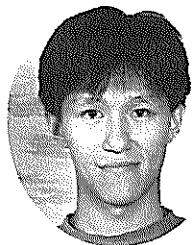
訳の経験あり。1987年3月から6月までオーストラリアフェイズに参加予定。



JP0066  
ふじわら こうじ  
**藤原 幸治**

20歳・兵庫県出身。国際基督教大学教養学部社会科学科在学中。スキューバダイビング部所属。

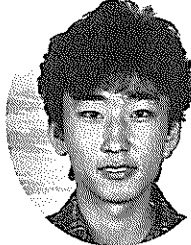
水中撮影・通訳もこなす。1987年3月からオーストラリアフェイズに参加予定。



JP0070  
ないとう やすお  
**内藤 泰朗**

22歳・東京都出身。青山学院大学理工学部物理学科在学中。少林寺拳法部所属。ロシア語通

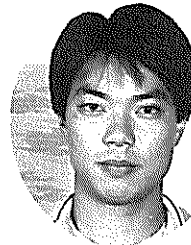
訳の技術をもつ。1987年7月から9月までインドネシアフェイズ参加予定。



JP0071  
かわむら なおと  
**川村 直人**

20歳・愛知県出身。国際基督教大学教養学部社会科学科在学中。特技は英会話。翻訳・通訳

の経験あり。1987年7月から9月までインドネシアフェイズに参加予定。



JP0072  
むらばし やすゆき  
**村橋 靖之**

22歳・山口県出身。慶応義塾大学在学中。ワンダーフォーゲル部に所属しロッククライミン

グ・緊急時の救出作業などの経験あり。インドネシアフェイズに参加予定。



JP0076  
いじま きょうた  
**飯島 京太**

23歳・神奈川県出身。福島県立医科大学医学部在学中。山岳部・アーチェリー部主将。救急法

のライセンスをもつ。1987年7月から9月までマレーシアフェイズに参加予定。



JP0077  
やまもと く に こ  
**山本 久仁子**

21歳・大阪府出身。神戸女子薬科大学在学中。水泳部所属で1km以上の泳力をもつ。薬用植物学への関心あり。1987年4月から6月

までゼブ号で日本からケアーンズへ。



JP0078  
いじづか としあき  
**飯塚 敏晃**

22歳・大阪府出身。東京大学工学部航空宇宙工学科在学中。マリンスポーツならなんでも。

1987年4月から6月までゼブ号で日本からケアーンズまで航海の予定。



JP0082  
すがわら たけし  
**菅原 剛志**

21歳・宮城県出身。早稲田大学社会科学部在学中。趣味は柔道。現在救急法ライセンス修得

のため勉強中。1987年8月から11月までパキスタンフェイズに参加予定。



JP0083  
たかはし おみ  
**高橋 央美**

17歳・千葉県出身。参加青年のなかで最年少。茨城県立土浦第一高校在学中。バスケットボ

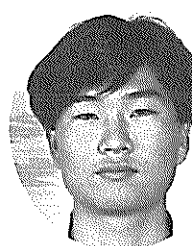
ール部部长、陸上部副部长。1987年8月から11月パキスタンフェイズ参加予定。



JP0084  
やました けんじ  
**山下 彦二**

21歳・東京都出身。早稲田大学政経学部経済学科在学中。世界旅行研究会報道班所属。電話級

アマチュア無線技師の資格をもつ。スポーツ万能。1987年8月からパキスタンへ。



JP0088  
いちや よしひこ  
**一矢 好彦**

21歳・東京都出身。京都大学法学部在学中。サッカー部、サイクリング部で活躍。1987年9月か

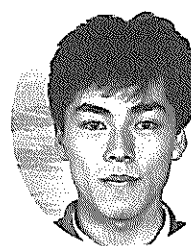
ら11月まで、ゼブ号でセイシエル諸島からアフリカまで航海の予定。



JP0089  
せき ていこ  
**関 貞子**

21歳・茨城県出身。筑波大学第三学群国際関係学類在学中。サイクリング部所属。通訳の経

験もあり。地図を読むことが得意。1987年11月から88年2月までゼブ号航海予定。



JP0090  
うなみ えいじ  
**海上 英治**

21歳・茨城県出身。東京大学文科三類在学中。空手初段。陸上競技部所属。1987年11月から88

年2月まで、ゼブ号でアフリカからリオデジャネイロまで航海予定。

# 日本代表派遣青年のページ

7月から9月の予定でオーストラリア北東部でのフェイズに参加していた森本君、青柳さん、宮田君から現地報告と写真が届きました。

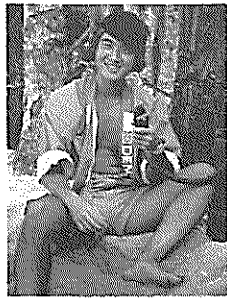
## 大感激!ゼブ初体験

8月29日僕はついにゼブ号に乗るという素晴らしい体験をしました。ゼブ号は以前からグレートバリアリーフにあるリザード島沖に停泊し、休息と陸上プロジェクトを続けていたクルーたちは、時々僕たちのキャンプを訪れてはスキューバーダイビングなどを楽しんでいて、その際に機材を貸してあげたことのお礼に、僕を含めたベンチャラー30人をセーリングに招待してくれたのです。ヒゲ面のキャプテンが号令をかけるとクルー全員が一斉に動きだし手慣れた動作でマストに登り、ロープをほどき、帆を広げる。その迫力と緊張感といったら何ともいえません。ひとつ帆をほどくと、それが風を受けて一気に広がり、いっぱいにくらんで船を引っぱる。船首が沖に向くと最初は静か、でもこのあたりは風が強くてものすごいスピードで進みすこく揺れました。方向転換の時など、キャビンの屋根から外を眺めていた僕には、海と島が動いているように見えて、一瞬映画の世界にいたような錯覚に襲われました。

船中でスタッフの一人に「カズマ

やナオを知っている？」と聞かれた時には、言葉にできない連帯感を感じて胸が熱くなりました。1時間半程の航海の後、僕たちは日本フェイズでの再会を約束して別れました。

(森本作也)



森本君



青柳さん

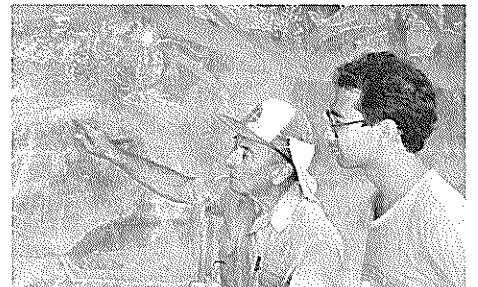
## 英会話とダイビング特訓中!

私は今、フィツロー島でダイビングの訓練中です。2日間、本部で講義とプールでの訓練を受けた後、近くの植物園で伐採の手伝いをしながら、初心者ばかりで特訓中です。スタッフのなかに日本語がわかる人がいて、私は何かと助けてもらっています。この1ヵ月間、英語にはさほど苦労しませんが、議論やジョークになるとお手上げです。気がつくとまわりのベンチャラーが私の英会話の先生になっているんですよ。ただ

国籍や宗教についての議論になった時には、自分の考えがうまく伝えられずもどかしい思いをしましたが、精一杯自分を表現しようと努めたことは、すばらしい体験だったと思います。私は、ORではプロジェクト自体はもちろんですが、それ以上に仲間がずっと大切だと実感しています。(9月7日・青柳なお子)

## 1万年前の壁画大発見

8月19日以降オーストラリアの典型的なブッシュ地帯クインカンでのプロジェクトに入って原住民アボリジニーの遺跡壁画さがしで歩き回っています。ここではオーストラリアのアボリジニー研究家の指導で未発見の壁画さがしをやっているわけです。ブルーアート(水色の珍しい壁画)など新発見、大発見が相次いでおり、私たちのグループも1万年前の壁画を発見、「国際的な価値がある」といわれビックリしています。



9月10日にはクインカンを出て、さらに北上、海水ワニの調査に3週間参加して帰国する予定です。

(9月8日ヨーク岬:宮田義明)

オーストラリアフェイズ参加で、帰国したばかりの、森本作也君、高野孝子さんが、早速アンケートに答えてくれましたので、ご紹介します。

Q1 ORへの当初のもくろみは?  
高野 逆境の中で、自分がどこまでできるか確かめたいと思いました。

森本 実践的経験を、以後の様々な活動への足がかりにしたかった。

Q2 帰国後のORへの評価は?

高野 私たちに、いろいろな意味での成長と、考えるための素材と時間



高野さん

## ただ今帰りました

●ベンチャラーに帰国インタビュー●

を与えてくれたと思います。

Q3 苦労したことは?

高野 反対意見を調整しつつ、相手をリードしていくことです。

Q4 楽しかったことは?

高野・森本 文明を離れた、大自然の中での仲間たちとの生活で、言葉を越えて理解しあえた時です。

Q5 異国人との生活で感じたのは?

森本 互いの文化の違いを尊重しあった上で、日本人としてのアイデンティティを持ち、時に主張することも必要だと思いました。

Q6 一番印象に残ったことは?

高野・森本 リザード島の美しさ。

Q7 有意義だったプロジェクトは?

森本 リザード島での、さんご礁の測量のプロジェクトです。

Q8 事前にマスターしておけばよかったことは?

高野・森本 英会話および、日本を紹介できる、伝統芸や武道などです。

Q9 日本人と外国人の違いは?

高野 日本人は辛抱を美德とするが、外国人は意志を通すことが誇り。

森本 個と集団に関する考えかた。

Q10 日本電装に関する反応は?

高野・森本 私たちベンチャラーに対する100%のサポート体制に、驚きながら、高く評価していました。